

議 会 報

# ふつさ

No. 25

昭和50年10月20日  
 福生市議会事務局  
 ☎ 0425-51-1511(代)



## 市民総合体育大会の開会式が 10月10日に行われました

秋は体づくりの季節です。今年で6回目の市民体育大会が開かれ、各種目が元気いっっぱいに繰り広げられています。

# 6,200万円余の 補正予算が可決

この補正予算は、福祉関係に対する国や都からの負担金や補助金約 3,800万円、49年度から繰り越された約 1,870万円などを財源として、身障、老人、児童などの福祉関係、あるいは道路や児童公園の工事を行うために、6,255万円を補正して、総額が64億982万6千円となります。

なお、今回はきびしい財政事情から、必要最少限度にとどめたということです。

19日の2日目に、この補正予算を3つの委員会に分割付託して、慎重に審議を重ね、10月3日の3日目に各委員長から審議経過と結果の報告がされ、原案のとおり可決されました。

**質疑** 大企業等の新規採用が厳しい現状であるが、来年度の当市の新規採用の考えを伺いたい。  
**市長** 欠員補充はしなければならぬが、新規採用はとりやめたいと思う。  
**質疑** 消費生活費の店頭用のぼり及び表示板など二十五万円は、産地直送を行っていくための費用か。  
**経済課長** 産地直送の関係ではないが、最近になって青果業者の組織がまとまり、十一月から特売日を設けるための費用である。  
**質疑** 市の無線放送施設の問題点として新聞に、広範囲の災害が起きた場合、無線が同一周波数を使用している市と混

線して、役に立たなくなるのではないかと報道されているが、当市の対策はどうか。  
**環境保全課長** 都内では青梅市と福生市、又隣接する埼玉県、群馬県の数市に關係する問題であり、この対策については協議会を設けて打ち合わせをし、支障のないようにしていきたい。  
**質疑** 水道料の値上げに關連して学校關係又市役所關係で、年一千六百万円程度の増になることがはつきりしているにもかかわらず、今回の補正に計上してない理由は何か。  
**企画財政課長** 各担当からの資料集計が終わっていないが、推計では一千数百万円程度の増と思う。十二月までにさらに全般的に見直しをして、水道料改定分の計上をしようと思う。

九月十八日 きょうは九月半ばというのに残暑がきびしく、窓が一つしかない議場は、座っているだけで汗がにじむ。午前十時に全議員が席に着き、一瞬緊張した空気が議場内にみぎる。それを破るように、「リリー」とベルが鳴った。「ただいまから第三回定例会を開会します。」と議長の開会宣言がいつぱいに響きわたる。これから十六日間の議会活動が始まる。  
まず八人の議員が、財政はどうか、基地対策はどうするのぞ等、理事者側にすどい一般質問を展開、午後五時三十三分に全員終わって一日目を終了。  
九月十九日 きょうも暑い日だ。前日に続いて条例九件、予算三件、決算一件、その外十件と請願二件の審議に入り、提案の説明や質疑をして、八件を可決、十七件を三つの委員会に付託したあと、次の本会議を十月三日に開くことを決めて、午後二時

## 第3回 定例会

三十分二日目を終わる。  
十月三日 ようやく涼しい秋らしい気候となる。十九日以降委員会付託案件を審議した報告が、各委員長からあり、その中で都に移管後の受託水道会計補正予算と移管前の四十九年度水道決算は、基地への給水工事が含まれているので反対だ、あるいはすでに決定しているものであり賛成だ、との意見があり、起立で採決したところ賛成多数で原案を可決。又虫歯予防のためのフッ素塗布に補助金を、という請願は、効果の点で医学的に結論が出てないことから、委員会では不採択となったとの報告があり、起立採決の結果、委員会報告のとおり決定。その外市長から新たに提出された三件を含め、それぞれ原案のとおり可決し、午後一時三十分、本年三回目の定例会を閉会しました。

## 審議日程

9月	10月	3日
18日 本会議・一般質問	30日 議会運営委員会	本会議
17日 本会議・議案審議	25日 総務委員会	委員会審査報告
22日 厚生委員会	23日 建設委員会	

## 議会日誌

7月	8月	9月	10月
1日 市制施行五周年記念式典	30日 全国基地協議会総会	29日 三多摩上下水(第一委員会)	19日 立川、横田基地対策連絡協議会
7日 西多摩農業共済事務組合議会	28日 建設委員会視察(29日まで)	25日 守山市議会来庁	21日 三多摩上下水(第三委員会)
	24日 局長連絡協議会	23日 福生市基本構想審議会	18日 全国議長会社会文教委員会
	23日 厚生委員会	15日 横田基地対策特別委員会	12日 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会総会
	22日 福生伝染病院組合議会	11日 仮称市民会館及び公民館建設特別委員会視察	11日 福生市育英会
	10日 三多摩上下水(第三委員会)	10日 三多摩上下水(第三委員会)	8日 三多摩上下水(第三委員会)
	8日 防衛庁陳情	6日 多摩川上流域下水道役	

四十九年度

# 水道会計決算を認定

## 二千三百万円の黒字で幕

福生市が、市民に水を供給して以来二十一年、この決算で歴史ある水道事業が、経理上の幕を閉じることとなった。

都一元化までの十カ月間(四十九年四月～五十年一月)の決算で、諸物価高とうや人件費増などから、約三千百六十四万六千円の純損失となったが、今までの利益剰余金が約五千四百六十一万七千円あり、差し引き約二千二百九十七万一千円の利益剰余金となった。

このうち百二十五万五千二百円を市へ、残りは、借入金八億八千二百万円とともに都へ引き継ぐことになった。

なお本決算は、本会議最終日に討論があり、賛成者多数で認定された。

### 監査意見(むすび)

福生市の水道事業は、昭和二十八年に事業開始以来二十一年間にわたり、市民の日常生活に欠くことのできないサービスを提供する公益事業として運営されてきたものであるが、このたび都の広域水道行政の一環として、昭和五十年一月三十一日までの水道事業を廃止し、二月一日から都の水道に統合されたものである。これに伴い、財産の引き継ぎは財産継書兼財産管理委託書で行われた。

今後の福生市水道事業は、経営主体は都に移管されたが、給配水は従来と変わりなく運営されることになっており、市民の給水需要に対処しうる円滑な運営がされるよう期待するものである。

### 討論

**反対** 都一元化目前に、市民の反対を押し切って基地へ給水するための条例改正をし、そのための工事を引き受けるなど、将来に悔いを残すことは明白であり、市民の大切な水を守るために反対する。

**賛成** 十カ月間の本決算は、監査委員より経営状態などについて報告され、その結びとして、経営主体が都に移管されたが、給配水は従来と変わりなく、円滑な運営を期待する、と述べている。結果的に二千二百九十七万円の剰余金となり、委員会でも剰余金処分案が全会一致で認定されているので、本決算について賛成する。

### 第3回定例会を

#### 傍聴された方々

(敬称略)

- ▷佐藤三郎▷菅原正夫▷設楽清一▷伊藤昇▷飯田誠▷石川繁治▷齋藤孝治▷伊藤成戸▷原田歌子▷原田栄子▷浜春春江▷伊藤君子▷板本美枝子▷尾崎トシ子▷清水静子



- ▷森谷キヌ子▷金井百合子▷高戸正子▷原ユリ▷佐藤由美▷小野沢正子▷松本由子▷高橋洋子▷川島道子▷成田和子▷村野京子▷結城基子▷栗原よし▷佐野芳子▷高田喜美日▷渡辺志づ子▷西本ちえ子▷西谷川とら▷鐘崎美恵子▷齋藤久江▷田口喜代子▷高橋ユキ子

## 緑化推進の条例を可決 環境づくりに期待

当市も年々緑が失われ、都下二十六市中でも二番目に少ない市となってしまう。農耕地の宅地並み課税などからまだまだ開発が進むと思われ、快適な生活環境をつくるため市民ぐるみで残された貴重な緑を守り育てていこうということ、十四カ条からなる「福生市の緑を守り育てる条例」が出されました。

- ① 市長は、緑化計画を策定し、緑化推進運動とともに知識の普及などにつとめる。
  - ② 保全対策として、今後五年間、面的つながりが七アール以上の樹林地や農耕地宅地並み課税(A・B農地)を対象とし、所有者等の申請で指定する。
  - ③ 期間は、五年を単位に、予算内で奨励金を出す。
  - ④ 所有者等から指定解除の届出があったとか、公共用の理由により、指定するのが不適当となった等の場合は、解除する。なお指定期間中解除された場合は、奨励金を返還すること。
  - ⑤ 指定後、要件がなくなった場合は届け出ること。
  - ⑥ 市長は、指定所有者等に指導、助言、報告することができる。
- この条例を審議した委員会でも市はもっと積極的に緑を守るべきである、などの意見も出されましたが、本会議最終日に全員異議なく、本条例が可決されたものです。

10月	9月
3日 第三回定例会(第三日目) 全員協議会	2日 狭山火葬場組合議会行政視察(3日まで)
10日 防衛庁陳情	8日 狭山火葬場組合議会
11日 福生市基本構想審議会	10日 福生市基本構想審議会
12日 議会運営委員会	11日 福生市基本構想審議会
18日 第三回定例会(第一日目)	12日 議会運営委員会
19日 第三回定例会(第二日目) 全員協議会	18日 第三回定例会(第一日目)
22日 厚生委員会	19日 第三回定例会(第二日目) 全員協議会
23日 建設委員会	22日 厚生委員会
25日 総務委員会	23日 建設委員会
26日 横田基地対策特別委員会	25日 総務委員会
30日 議会運営委員会	26日 横田基地対策特別委員会
	28日 三多摩上下水総会
	29日 都議定会定例会
	30日 仮称市民会館及び公民館建設特別委員会
	26日 三多摩上下水総会
	25日 狭山火葬場組合議会
	23日 福生市国民健康保険運営協議会
	22日 福生市基本構想審議会
	20日 福生警察署管内防犯協議会
	19日 八高線電化促進期成同盟
	15日 議会運営委員会

# 一 般 質 問

## 育英資金の増額をはかれ

質問 教育とは人間性をつくることである。教育基本法にも、国民はひとしく教育の機会を与えられ、身分や経済的な差別はされぬこととなっている。又、市町村は経済的理由で入学困難な者には奨学の方法をとらなければならない」と明記されている。市の育英資金制度は、昭和二十六年から行われているが、その選考方法や資金の額について聞きた

い。  
市長 育英資金を受ける場合の選考は厳正にやっている。運営は基金の利息であるが、基金が少ないので、市から繰り入れている。対象者は高校生五十人で、最近の物価高から年額三万四千円(月二千円)では少ないので、増額について検討したい。

教育長 将来有望な人材を育成するため、成績優秀な高校生を対象とし、大学生は該当しない。この選考には中学校長を通じ、又市広報で公募し、育英会理事(委員二十八人)で協議し決定している。基金の利子収入と繰越金及び市の補助を合わせ百一十六万六千円が運用資金で、支給額が二百二十万六千円となるので、この不足分は市からの補助でまかなっている。

## 庁舎の冷房でサービス向上

質問 今年は何もない残暑が続

き、冷房設備のない市役所では窓をあけて扇風機をかけているが、庁舎の冷房は、市民サービスや事務効率の向上、労働環境の改善に役立つものと思うが、その考えはどうか。

市長 冷房完備は常識の時代となり、市民サービス、事務効率などから考え当然ですが、やるとす

れば保育園などからしたい。財政も苦しく防衛施設庁の補助でやることも大工事となり、市民感情もあるかもしれないので、今後意見を聞き、一つのプランとして検討してみたい。

庶務課長 防衛関係の補助は、防普工事の補助であり、二重窓にして冷房することになる。しかし工事が大きくなり、その間の仮庁舎や財政上の問題もあるので、経済的に各階ごとがいかが全体にするのかがいいか、具体的に検討していきたい。

## 予防センターの改築と都立保健所計画は

質問 予防衛生センターで先日も、きびしい残暑の中で予防接種があり、長い列ができていたが、現在のセンターは狭くて不便を感じているようなので、隣の公益質屋の敷地を利用し、休日診療をかねた施設とする考えがあるか。又待ち望んでいる都立保健所の見通しを聞きたい。

市長 休日診療も医師会の絶大な協力があって実現した。市の行政は、福祉を進めるため

にあるといってもよく、ことに医療が最大のポイントと思う。しかし急がれる義務的事業も多くて手が回らない状態ですが、一日も早くできるような要望している。都立保健所は、来年建設するよう設計も終わっているが、都財政がきびしく、これから予算化する段階であるので、強力な運動をしている。

環境保全課長 予防衛生センターは旧柔剣道場を修理して使っているの、不便をかけているが、改築ができるまで来場者に事故がないよう配慮していきたい。なお都立保健所は、都が三千四百八十一平方メートルを買収、鉄

## 予防衛生センター



筋コンクリート二階建てをつくらうとするものである。

## 下の川の水質は心配ないか

質問 基地排水が流れ込んで下の川の水を使って水田を耕作していた当時、黄色い水が多量に流れ込み、非常に不安であったが、市ではこれら河川の水質検査をやったことがあるか。

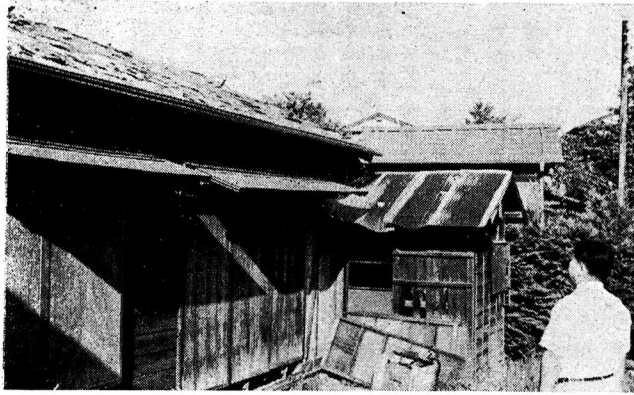
環境保全課長 市でも常時監視をしており、カドミウムや水銀などは検出されていないが、家庭からの雑排水が多く、水が腐ることもあるので検査したい。

## どうなっている

## 採択請願陳情の処理

質問 市民からの声である請願や陳情を議会でも数多く採択している。市側でもできるだけ実現させることは当然ですが、この採択された請願や陳情の処理状況と、各門会から出されている集会所建設の考え方を聞きたい。

庶務課長 過去三年間に採択されたのが四十四件、うち実現したものが三十四件で七七%の実現率となっているが、他市では二〇%程度である。今後も議会側の意思を尊重し、実現に努力していきたい。企画財政課長 現在審議中の基



取り壊す予定の市営住宅

本構想で、市のコミュニティ施設としては、市民のコミュニケーションを考える場として、老人や子供も行けるように小学校単位につきくりたい考えで、この施設は図書館とか児童館、老人用などを含んだものである。

町内会館については、歴史的な経過もあり、会館のない町会には今年度から建物に五〇%、用地に二〇%の補助をし、又、学習等供用施設を会館としてつくと、補助は半分であるので、市の負担が膨大になり困難と思う。

### 建替え計画に

### 老人などの部屋を

#### 市営住宅

**質問** 市街化が進んで住宅難に拍車をかけているが、市では耐用年数がきた市営住宅を建て替えて、中高層化する計画を進めているが、核家族化の進む現今、老人や身障者も共に住めるプランを考えてはどうか。

**市長** 市営住宅の取り壊しが遅れているが、万遺ろうのないよう進めたい。又、老人とか身障者の配慮もしている。

**庶務課長** 特殊な条件下にある住宅困窮者向けの特定公営住宅の建設について、国からも通達があり、市でも建設時には十分考えていきたい。今まで老人だけの住宅が考えられていたが、最近住宅内に老人向けの部屋をつくる傾向となり、身障者向けも平屋とか、高層の場合は一階にし、特殊な設計が必要となっている。

### コミュニティ施設は 小学校単位

**質問** 仮称市民会館及び公民館の建設も設計の段階に入り、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律による学習等供用施設として、熊川武蔵野会館ができ、加美地区にもできるはこびとなったが、こうした施設を中央から離れた所につくるのも大切

であるし、教養や文化を高め、心のふれあいから住み良い福生が生まれるものと思う。住民からも地域会館建設の要望がされているが、今後の学習等供用施設について聞きたい。

**企画財政課長** コミュニティ施設の建設は、基本計画では小学校

### 不況下こそ

### 細かい福祉

**質問** ①今まで進められてきた福祉行政が、不況下からその見直し論が出てきた。また各自自治体の財政硬直から、そのしわ寄せが弱者にくると思われ、これ以上福祉行政を後退させてはならないし、不況時代にこそ真剣に考えるべきだと思いませんか。

②福祉会館もお年寄りに喜ばれているが、さらに分館のような考

区単位に考えている。又、この形態は、地区公民館を主体としたもの、図書館分館を主体としたもの、それに児童館を主体としたものに集会施設や学童保育所などを併設する三形態に分けられ、それぞれの形態のものを福生地区と熊川地区につくる考えであり、加美地区のものは、図書館分館を主体として、学童保育や老人用施設を含めたもので、来年は熊川地区につくる予定である。

### 議会を傍聴

しましょう

次の定例会は12月  
に開かれます

人の悪い家の設置はどうか。

③これは広域的な問題もあるが、衛生組合の処理場余熱を利用して、老人の悪い家や温泉プールなどを併設したらどうか。

**市長** ①最近財政硬直化による福祉行政の見直しがいわれ、財政の豊かな住民と、貧窮財政の住民との不均衡が生じ、又、国と都と市の行政上の区分が不明確なため一層格差が出ている。そうした矛盾点を考えるよい機会でもあろうし、正しく進めていかなければならないと思う。それに経済援助た

けでなく、精神面の援助も必要であり指導者の育成も大切である。又、高福祉のためには高負担もやむを得ないと思うが、今後真の福祉確立のために進んでいきたい。

②本年度建設の加美地区、来年年度予定の熊川地区の学習等供用施設には、老人用の医療施設も設置したい考えである。

③西多摩衛生組合は二市二町の共同施設であり、工業用水を使っていることなどあるので、管理者等とも話し合ってみたいと思う。

### プール利用に

### バス運行の考えは

**質問** 市営プールの入場者も今年は七万四千六百人以上で、そのうち小中学生が約六割を占め、又この周辺は交通が激しく、子供が事故にあったとも聞いている。そこで子供たちが安心して行けるように、老人バスを利用したらどうか。

**教育長** 利用者が年々増加し、特に子供の利用が多いので、学校長や校外指導連絡会とか市広報で、事故のないように呼びかけている。今年は期間中プール前の道路を閉鎖し、警察とか病院と連絡をとり安全策に配慮した。

プールの老人用バス利用については、担当と相談したので研究課題にしてほしい。

### 戦術空輸部隊が移駐

#### 国への運動は

**質問** 関東集約計画により基地内の設備が強化され、加えて沖繩から第三四五戦術空輸部隊の移駐で、市民生活の環境は一段と悪化している。基地周辺の生活環境の整備等に関する法律による防音の線引きについて、市は今後基地環境の変化があったらやり直す条件で承認したものであるが、この部隊の移駐で再調査を求めると考えがあるか。九月に基地側へ申し入れた騒音公害に対する飛行停止が期待できるかお聞きしたい。

**市長** 第三四五部隊移駐について、当市としては反対である意思を国や基地に申し入れた。この部隊はプロペラ機十六機で、遠隔地への物資輸送を行うもので、飛行訓練は一日六回ぐらい、軍人や家族を含め千人ということである。移駐してしまつて大変残念だが、今後は一層強く国にあたることだと思ふ。

線引き問題は、回答がやや早かつたかと思うが、住民から防音工事の希望者があつた場合、市側の回答がないと着手できないこともあるので、再調査などの条件をつけて返事をした。現在五件の申し込みがあり、今後ふええると思ふ。なお、この再調査について防衛施設庁も大蔵省に予算を要求した

ようである。基地側にも夜間の飛行停止などにつき要求したが、部隊が飛行場になれば回数も少なくなるということである。

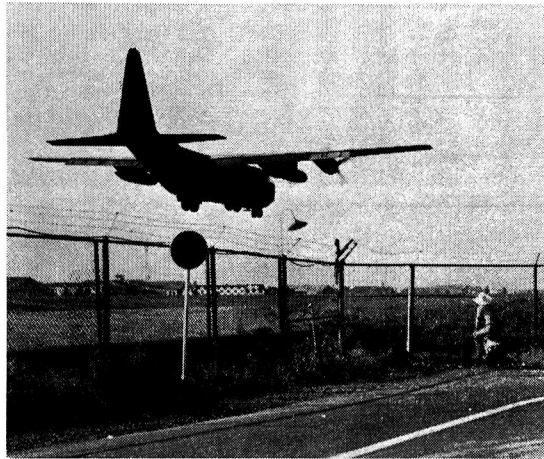
**企画財政課長** 線引きの再調査は、五十年程度までに全国の二十五該当基地のうち、十六カ所しか完了せず、再調査について強い運動をしないと困難と思ふ。

#### 質問 第三

四五部隊の移駐で、前より飛行回数が六割以上もふえ、騒音も一層ひどくなつた。この移駐に対し市長はどう思うか。

**市長** さらに個人防音工事についてあわせて聞きたい。又、熊川地区のテレビ受像被害は基地内の給水塔ではないかといわれているが、原因究明をする必要があると思ふがどうか。

**市長** 私としても基地側や国に反対の立場を表明してきた。しかしわが国には日米安全保障条約が締結されており、合法的に国が締結した条約は、国民として守る義務があり拒否できない。しかし市民生活に悪影響が懸念される問題なので、新法による線引きの再調査、個人防音工事の早期実施、民生安定や基地周辺対策費の増額などについて強く訴えていきたい。



離着陸訓練中の空輸部隊機

**企画財政課長** 個人防音の対象面積が約十八万平方メートル、アパートなどを含め全体で四百六十

世帯となるが、この事務については、市民サイドの立場から指導などはしていききたい。

**環境保全課長** テレビの電波障害については、昨日連絡があつたのでさっそくNHKに調査してもらふよう依頼した。

### 健康手帳は保健所が出す

#### 健康手帳は

**質問** 真の福祉は健康保持である。がんや心臓病などの早期発見、治療が大切であり、今こそ予防医学に着目すべきである。健康都市宣言もしていることを考え、市民に健康手帳を配り、健康管理をする考えがあるか。

**環境保全課長** 市民が健康で快適な生活ができることは一番幸せであつて、市もがんや結核、成人病などの検診をやっているが、近辺では三鷹市が立川保健所から健康手帳をあっせんし、この手帳は一般開業医では保険証がきかず有料となるが、今後都立保健所ができれば無料で検診ができるようにしたい。

なお健康都市宣言についても一般にPRし、市民の健康管理のために努力していきたい。

### 危険な三中通学路

#### 地下道で解消

**質問** 昨年四月に開校した三中の通学路は、交通量の激しい五日市街道や奥多摩街道を横断したり、田園地区への坂道も石がきかず滑りやすく、震災時には危険である。この点は牛浜地区住民からも要望があつたもので、近くに基地周辺排水路の流出口があつ

て悪臭も出ているので、これにふたをして通学路にしたらどうか。

**下水道課長** 基地周辺排水路の南部幹線流出口のふたかけは、前から苦情もあり防衛施設庁にも折衝してきたが今度奥多摩街道の五日市線踏切から福生寄り百五十メートルの所に、都が地下道をつくる計画があり、来年三月に完成予定となつているので、流出口にふたをして地下道と接続できるように防衛側と折衝していきたい。

### 要保護の補助を

#### 中学でも出しては

##### 給食費

**質問** 小学校では完全給食が実施されているので、要保護、準要保護児童には給食費が支給されている。しかし中学校では完全給食が実施されていないために、こうした家庭に小学校と同様に給食費に相当する補助をすべきと思ふがどうか。

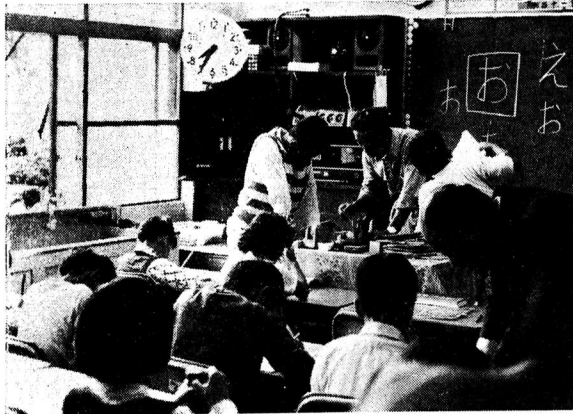
**教育長** 中学校の給食が実施されていれば解決する問題ですが、全国的にみても補助を出しているところは少ないと思ふ。現行の学校給食法の任意規定による制度上の問題であるので、今後研究していきたい。

東口開発計画に

自転車置場もほしい

質問 自動車優先から排気ガスが野放しにされている世の中で、住み良い環境づくりのためにも、自転車による生活ができることは大切である。しかし各駅周辺には合法的な自転車置場もないので、計画中の福生駅東口開発の中で、駅前広場から自転車置場を設置する考えがあるか。

都市計画課長 計画中の駅前広場は自動車も通るようになり、自転車置場をつくと広場の効用が



一小の福原学級

なくなる。又、この区画整理は減歩緩和のため、用地を取得している状態であり、計画変更は不可能である。しかし趣旨は理解できるので、できるだけ駅近くに設置できるよう検討してみたい。

福原学級に

重度障害児も

質問 義務教育の就学率は九九・九〇に達したといわれる中で、障害児教育は長い間放置されてきたが、当市では四十七年から一小で特殊学級として福原学級が開設されて喜ばれている。しかし、促進学級としての役割りは果たしているものの、障害児学級の役割りは果たしていない。障害の重い児童を福原学級に入れてこそ真の障害児教育といえると思うがどうか。

教育長

都では障害の程度により特殊学級なら養護学校に就学させて、本年度羽村町に養護学校ができ、パス通学し小学部から高等学部まで一貫した教育が行わ

れている。

一小の福原学級は、障害の軽い子供を対象に、普通学級との交流の中で効果をあげているが、重度身障の子供を入学させると混乱を招くおそれがあるので、現在の方法を変える考えはない。

質問 市長が三十九年に就任してから

健全財政のために 財源確保をはかれ

現在まで、その政治的行政的手腕は高く評価されるが、反面騒音などの基地問題も市民に直接、間接に発生し、将来も続くことは明らかである。そこで市はその見返りとして国に財源要求してきたわけであるが、

- ①長期的健全財政の堅持から、自主財源とするための基地交付金の獲得と補助事業の考え方は。
②停滞する経済下における市税収入の見通しはどうか、又、新税の考えはあるか。
③国や都からの委任事務で、人件費がどのくらい超過負担となっているのか。

市長

①国に市の実情を訴え、市民がいかに苦しんでいるか認識をもってもらうために要請をしているわけである。

基地交付金は七五％が固定資産税にかわるもの、二五％が財政事情などで配分されるが、来年は五

年に一度の評価替えがあるので、高く評価してもらおう運動中である。又、横田基地のように、特定防衛施設とされた市にはある程度自由に使える調整交付金がくるので、この獲得が大切である。防衛施設庁でも五十一年度で五十億円を大蔵省に要求している。

質問 市が三十九年に就任してから現在まで、その政治的行政的手腕は高く評価されるが、反面騒音などの基地問題も市民に直接、間接に発生し、将来も続くことは明らかである。そこで市はその見返りとして国に財源要求してきたわけであるが、

- ①防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律も期待したほどでなく、国は市民生活に密着した施設もやるべきだと叫び続けている。したがって今後も国に強い運動をし、補助事業を進める考えである。
②個人市民税は、四十九年度では三九％増、五十年度は不況と減税対策から三％ぐらいしか伸びない。法人市民税は該当が少なくないので影響は少ない。固定資産税は経済変動に影響がないので、例年どおり三〇％前後増収が期待される。総体的には予算に対し三千万円は増収になると思う。
新税としては、法人市民税を資本金額により課税する不均一課税を、各自自治体でやりはじめているが、各市には高額法人数が少ないので七百六十万円ぐらいいかにない。

それから

人口五十万人以上とが既成市街地の市が徴収できる事業所税の基準緩和運動を進めている。

企画財政課長 ③超過負担のと

らえ方はむずかしく流動的だが、人件費分としては四十八年度が五千三百八十九万円、四十九年度は五千六百十三万円となっている。こうした負担解消の運動を積極的に進めており、実態調査もやっている。

国や都も苦しい財政

補助事業は大丈夫か

質問 国や都の財政援助に大きく依存する市町村にとって、破局的財政悪化は大きな影響が予想されることである。

- ①一般会計の約四〇％にあたる国庫支出金の折衝経過と現況を、当初予算に示された本年度の主要建設事業によつて説明願いたい。
②今年度見込んでいる約四千八百万円の都補助金も、都の財政事情などから見通しはどうか。
③負担金、補助金及び交付金を出している八高線電化促進協議会、都市交友会、大多摩観光連盟などの活動状況がわからないし、各団体に補助金や負担金を支出する場合の区分方法はどのようになっているか。

企画財政課長

①道路の新設や整備はある程度補助金が決まり、原ヶ谷川に予定している児童公園は、未決定だが、防衛施設庁が市に回答した責任上、積極的に大蔵省と折衝中である。玉川上水公園(加美の多摩川べり)は河川敷な

ので、管理する建設省と調整中であり、これらは二月頃までにははつきりすると思う。その他屋内運動場、無線広報施設、ポンプ車購入、四小、六小増築、学習等供用施設一カ所などが補助内定し、防火貯水槽は、起債を予定している。市民会館及び公民館は三億円の補助を予定したが、現在一億二千三十六万円が内定、その他調整交付金で入る予定である。概括的には国の補助金、交付金が約二億円、起債が一億八千九百万円、一般財源で約一億円、計四億八千万円ぐらゐの事業が予定され、残りは来年度に全額入ると思う。

②四小、六小の増築分の都予算をみると、約二千六百万円と減っている。この理由は、国と都の建築単価差を当初一平方メートル当たり九千円とし、その半分を予定したが、今年度の単価差が四千円となったため、この分は税金などの増収でまかなえると思う。

秘書職員課長 ③都市交友会は、都下各市の公用車を運転する職員のマナーなどを研究する会で年一、二回講師を招いて研修している。

八高線電化促進協議会は、八王子から高崎までの七市十七町三村で組織し、年一、二回総会を開き関係方面に運動している。

経済課長 ④大多摩観光連盟は、西多摩の各市町村や観光資源の団体などで組織され、観光資源の

開発とかPRをし、当市では七夕祭り、ホテル祭りのパンフレットを都内各所に配布している。

企画財政課長 ⑤法に基づく市の当然の負担、又、公的団体に入ることによって生ずる分担金などがあるが、明確な区分もないので検討の余地はあると思う。

助役 ③補助金については、監査委員からも指摘を受けているので、全体をあらひ直し、適切な措置をとっていききたい。

長時間保育の

態 勢 は

質問 働く母親にとって、長時間保育の要求は切実である。当市では十月からこれが行われると聞

いているが、時間や保育はどうなっているのか。又、つくし保育園では二名の保育が病欠欠席し、一名が欠員となっているが、対策はとっているのか。

福祉事務所長 市では長時間保育をやっていないわけではなく、勤務時間も一日九時間やってい

十月からはつくし保育園で長時間保育をやる予定で、時間は午前七時半から午後六時までである。欠員中の保育募集をしたが、資格をもった人がいなかったため、代用保育でやる予定ですが、子供の人命を考へ万全を期してやっていきたい。病欠中の保育は、暫定的にパートでやる以外になく、手を尽くしている段階である。

第4回臨時会

— 8月20日 —

今年4回目の臨時会が8月20日の午前10時から、猛暑の中で開かれました。

この会議には、多摩河原地区の区画整理の完成により、町名が南田園、北田園となったため、この区域にある学校や保育園等の所在地も変更するための条例改正、第4小学校(6,543万円)、第6小学校(1億3,597万円)の増築工事関係の契約案3件、固定資産税の評価額について不平不満や苦情を処理する審査委員3人のうち1人が任期満了となるための同意案、合計5件の市長提出案件を原案どおり決めました。最後に建設国保組合から出されていた、大工さん等が加入する健康保険に対して市から補助していただきたいという請願は、他の健康保険とのつり合いもあり、建設国保組合のみ出すわけにはいかないという理由で、多数をもって不採択とし、午前11時35分に閉会しました。

請 願 情 陳



▽採 択△

◇請願第三号 第七小学校区内に児童保育所設置に関する請願書  
福生団地十七一〇三  
鈴木俊文子氏 外一二四名  
1昭50・9・19提出1

固定資産評価審査委員に

磯村武夫氏が再任

委員三人のうち、磯村氏が八月いっぱい三年の任期が切れるため、全員一致で再び同氏が三期目として同意されました。

青少年問題協議会

委員が決まる(議会側)

三十七年にできた青少年問題協議会条例の一部が改正されて、次の四氏が選ばれました。

- (敬称略)
- 貫井喜代次 志茂四一―二
  - 原田 生也 福生九八八
  - 森田 治男 本町一〇五
  - 東田 正治 福生九九九

▽不採 択△

◇請願第二号 建設国民健康保険加入者への補助に関する請願書  
牛浜九一  
西村理三郎氏 外一三五名  
1昭50・6・13提出1

◇請願第四号 子供の虫歯予防対策に関する請願書  
福生団地十三一六〇四  
川島道子氏 外八二九名  
1昭50・9・19提出1

教育委員に野島茂雄氏

委員五人のうち、九月いっぱい一人欠員となっていた委員として、同氏が賛成多数で同意されました。

訂 正

七月二十一日発行のあとがき中・編集委員小川菊三は、小林菊三の誤りでした。おわびして訂正します。

あ と が き

去年の世論調査で議会報が七八%読まれているということで、大変励みに思っています。皆さんからもご意見などありましたらお寄せください。

◎〇四二五―一五一(代)  
議会事務局